

美の発見と創造の場

富山市西中野の城南公園。この一角で竣工なった県立近代美術館が、冬の日差しを浴びて来年七月に迫った開館を静かに待っている。

鉄筋コンクリート造り、地上二階地下一階の建物。中央の円型ドームが芸術の殿堂としての威容を誇っている。純白の外壁にカーテンウォールに使われたミラーガラスがよく映える。

同美術館は「心のうるおいと暮らしのやすらぎ」を求める県民の要望に応え、置県百年（五十八年）記念事業の一環として、郷土美術の歴史と伝統をふま

え、豊かな芸術文化を育てる美術館」

●日本と世界の美術の流れをとらえ、二十一世紀を志向する美術館」

●だれもが気軽に訪れ、美に親しむへいこいの場としての美術館」

しむへいこいの場としての美術館」



『肘かけ椅子の女』パワロ・ピカソ
1922～23年頃制作 新古典主義のもので堂々とした女性像がモノクロームで画面いっぱいに描かれている

富山県立近代美術館 12月21日 館竣工

『山洋を抱く男』マルク・シャガール
1924～25年頃制作 ロシアの田舎町の一隅が幻想的に描かれている

● ぜん新な試みを積極的に取り入れ、多様な価値感に感える美術館」

を目指して、建設が進められてきた。

また、この間に購入された収蔵作品は、ピカソ、シャガール、ロートレックなど海外巨匠の作品をはじめとして、すでに四百

開館記念展シリーズ(予定)	
7月5日～9月23日	富山国際現代美術展
10月1日～10月25日	'81富山の美術
11月3日～12月20日	現代日本美術の展望
57年 2月6日～3月28日	収蔵作品展

*このほか1月5日から31日まで「わたしたちの壁画展」が予定されています。

五十八点にのぼっている。

五十四年七月に着工してから二年を経た来年の七月、県立近代美術館は文字どおり「美と創造の場」として開館を迎える。

富山県立近代美術館
富山21-7111

来年七月オープン

12月号 ● もくじ

美の発見と創造の場	表1・2	適正な下請取引を	7
県立近代美術館竣工		市町村民話②高岡市	
さわやか県政・対話が原点		七駄片馬	8～9
富山県知事 中沖 豊	1	相談室②	10
南十字星の		年末・年始の雑踏事故防止	11
オーストラリア・ニュージーランドに行く	2～5	年末・年始の防犯	11
第10回富山県青年の船に同行して		かしこい消費者	12～13
水準引き上げ遺族年金を改善	6	トピックス・県政の動き・お知らせ	14～15
厚生年金法を一部改正		家庭の省エネルギーここがポイント⑤	16
国民年金	6	県有美術館紹介	表3
工業・エネルギー消費統計調査が行われます	7	交通安全県民運動	表4